

四十八圓を 請求されて 發狂自殺

内郷村大字宮梅原留雄(二二)は實兄春雄が昨年十一月原籍地大沼郡高田町に於て精神病のため死亡した際高田町では葬儀を行つてくれたが此の程その葬式費用四十圓を請求されたのを苦にして精神に異常を呈し六日夜家を出し七日午前三時頃内郷村大字高城警城炭礦専用鐵道で汽車に飛び込み死を遂げた。

修養講演會 平町教育

會主催平町青年團後援の講習會は十二日午後七時から平町元石城郡役所に開催日本文化學研究所長里見岸雄氏の講演がある。

葱を盗む

當時住所不定無職山形縣西置賜郡露葉村生れ酒井原新太郎(三六)は三日夜一時頃飯野村大字北白土嶺民治方所有畑から葱四十貫多價格二十圓を窃取した外内郷村大字高坂で白米二俵を窃取した事判明八日平署に捕はれた。

草餅の跋扈

世の中に草餅の跋扈は不愉快なものはない、第一草餅といふ奴の毒々しい化粧の仕方からして嘔吐が出さうだ、その上三文の値打もない彼等の教養、捨ばちな物の言ひ方、下可張つたその姿態、傍若無人な振舞はお酌をして貰つただけで酒がブンと臭くなりさうだ。それも賣り物に買ひ物、求め

るものがあるから満たすといふことになるのであらうが、最近草餅屋の殖え出したのには正に僻易させられる。

發展云ふことが一般に頹廢を意味するものであるならば致し方もないが、その土地の發展が草餅屋の繁昌から出發するのだつたら實に心細い限りだ、何のことはない現在の私の町の發展は恰も草餅屋の殖えることによりこれを買ふことによつて意義づけられて居るやうなものだ。

驚いた!!!

平町加納活版所の印刷物としてある、誠に困つたことだ、そればかりではない、より以上に困つたことは彼等青年の心に毒を流すことだ。かくして肉体的にも精神的にも彼等は漸次蝕まれてゆく、良風美俗を以て誇つた町も質的には亡びてゆく。

十二時を過ぎやうが一時を打たうが低調な唄が無遠慮に毎晩續く、平常つまらないことに小やかましい駐在巡査は草餅屋にはどういふものか寛大以上に寛大だ。

これではどうも堪まらない、××さんがいくら農村の青年に思想善導をやつてゐても傍からその磨かれた玉は風化作用を起すであらう、實に困つたものだ。

鳥柳天 御料理 井川理

仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り
電話四二四番

磐城共済病院

院長 醫學博士 難波 波
副院長 醫學士 五十嵐 雄二
内科部長 醫學士 中西 林藏
外科部長 醫學士 鈴木 憲
毎日手術 醫學博士 鈴木 憲
産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄二
産婦人科 女子泌尿科 レントゲン科
顧問 醫學博士 川添 正道
主任 醫學博士 難波 波
本院醫事法制度法學士 岡 治
本院主事 賀 澤 忠
本院主事 賀 澤 忠

胃腸科 毒疫

内科 腸胃科
婦人科 皮膚科
院 醫科 村松
(七〇一電話 町南平)

毒疫

皮膚科 疥癬 疥癬 疥癬
平五 山野遊樂局

御禮

六日藝妓演藝大會舉行に際しては各位の熱心なる御後援により豫期以上の成功をおさめ候段誠に感謝に堪へず茲に謹んで御禮申述候

主催者 磐城時報社

油と味噌 山崎合名會社

福島縣平町
電話一〇〇番
電話一〇〇番
電話一〇〇番

セメント 西村屋藥舖

代理店 西村屋藥舖
平町二丁目
電話三番

三國屋印刷所

平町 鍛冶町
電話五三三番

阿部石炭商店

營業種目 石炭、コークス、玉炭
磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル
◎磐城炭礦ノ最上石炭
正味十貫目入 壹俵 金六十五錢
◎日本テ一番評判ノ良イ東京瓦斯コークス
◎コークス 壹俵 金壹圓參拾錢
◎木炭ノ三倍御徳用ナ
◎玉炭 大箱壹箱 金貳圓
◎配達ハ二俵ヨリイタシマス
平町前
電話三三七

磐城共済病院組織

内科 小兒科 (院長毎日診療)
院長 醫學博士 難波 波
副院長 醫學士 五十嵐 雄二
内科部長 醫學士 中西 林藏
外科部長 醫學士 鈴木 憲
毎日手術 醫學博士 鈴木 憲
産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄二
産婦人科 女子泌尿科 レントゲン科
顧問 醫學博士 川添 正道
主任 醫學博士 難波 波
本院醫事法制度法學士 岡 治
本院主事 賀 澤 忠
本院主事 賀 澤 忠

共済病院

本院主事 賀 澤 忠
本院主事 賀 澤 忠
本院主事 賀 澤 忠

一葉印刷所

平町 字 仲町
電話七四三番